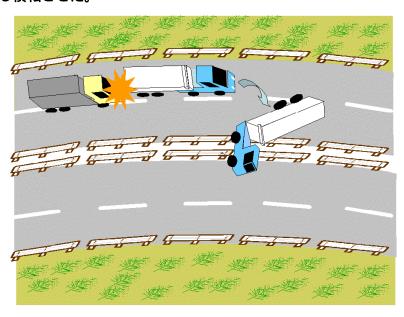
事故事例14 (一般貨物)

高速道路走行中、居眠り運転により先行車に追突し横転させた

発生日時・天候	5月9日(火) 4時30分 晴れ
発生場所の状況	高速道 制限速度80km/h 乾燥 幅員(車線)7メートル
運転者	年齢:27歳 運転歴:3年8月
当該車両	種別:普通(大型) 最大積載量:9300kg
	形状:パン 当時の積載量:5000kg
損害	重傷1名 軽傷1名

事故概要

当該運転者は、4時過ぎに出庫したが、行き先を間違えたため12時12分に一旦帰庫し仮眠をした。その後、17時30分に出庫して配送し損なった荷送先に立ち寄ったうえ、翌朝4時30分、高速道路を110km/hで走行中、眠気を催し、前方を80km/hで走行していたトレーラーに追突し横転させた。



推定原因

要因及び背景

再発防止対策

運転者

当該運転者の居 眠り運転

- ・休息が不十分であったため、 疲労を感じていた。
- ・時間的余裕がなく焦ってお り、速度超過となった。

運行管理

- ・前日の運行指示が的確でなか った。
- ・仕業間の休養を十分取らずに 乗務させた。
- ・無理な運行計画を指示した。

運転者

- ・眠気を催した際は、直ちに休 憩する。
- ・ゆとりを持った運転を心がけ るとともに制限速度を遵守する。)

運行管理

- ・運行指示は的確に行い、必要 に応じ、地図上で具体的ルート を指導する。
- ・過労防止に関する告示を遵守 して乗務させるとともに、運転 者の疲労状況を適切に把握した うえで運行指示を行う。
- ・運転者に対し、制限速度の遵守及び疲労を感じた際の休憩の 取得について適切な指導を行う。